

新事業「工業用ビデオスコープ」の輸入販売

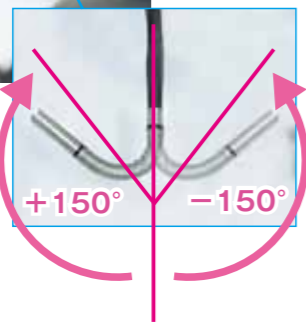
進化する関プレスのビジネスプラン
そして、アジアへ!



工業用内視鏡
「ビデオスコープ FASTAシリーズ」



プローブ先端が
任意に動作します



事業基盤強化

株式会社関プレスは、自動車部品を中心に、次世代自動車部品(HEV・EV・Li電池含む)、各種金型設計製作・試作開発・プレス加工及び溶接、組立を行う金属プレスメーカーである。万単位の量産はもちろん、多品種少量生産の対応も積極的に受注しており、小ロット生産の単発プレス加工から、量産生産の順送プレス加工、トランスファー加工と、数量に応じた生産体制を構築し、取引先から“困った

時の関プレス”と評価は高い。またプレス加工のみならず、溶接加工技術も自社で確立しており、電極の設計製作をはじめ、最新鋭溶接機の導入による新素材の溶接性改善・作業効率向上など、付加価値向上に努めている。さらに、プレス加工後の出荷検査に画像識別システムを設計導入し、品質確認の信頼性向上を目指している。

近年は、設計技術者の育成に力を入



エンジン内部確認風景

れ、本格的に新技術工法の開発を開始。すでに1つの新工法が大手メーカーに認められ、近い将来の量産実用化に向けて技術確立を進めている。従来のシェービング加工技術のさらなる進化と合わせ、関プレスにしかできない技術工法の構築を目指し、他社との差別化を図っている。また、ダイキャスト・機械加工品をプレスへ工法転換する技術提案も積極的に展開し、技術力の向上に励んでいる。

現在は、各取引先のグローバル展開に追随するために、2006年にベトナムのハノ

主要品目

●各種金型設計製作 ●プレス加工 ●溶接 部品組立加工

得意&特異技術

工業用内視鏡「工業用ビデオスコープ FASTAシリーズ」
●シリンダ、配管、ダクト内等、見えない空間の観察に最適
●3 Typeの選択に加え、オプション部品で様々な要求に対応
(ダイヤル操作でプローブ先端が±150°任意に動作、ワンタッチでフロント・サイドの2カメラを切换え、最長22mのプローブ、等)

アジアから世界へ



住 所 ● 〒316-0013
茨城県日立市千石町4丁目3番20号
T E L ● 0294-36-0300
F A X ● 0294-34-5947
代表者 ● 関 正克
資本金 ● 4200万円
従業員数 ● 85人
品質環境規格取得情報 ● ISO9001

連絡先

担当者：関 正克
TEL：0294-36-0300
FAX：0294-34-5947
MAIL：spc@jsdi.or.jp



プレス製品群

イチオシ加工分類

シェーピング型(金型製作/プレス金型)
トランスファー(300t)
(量産/金属プレス)
順送(80t~250t)(量産/金属プレス)
シェーピング(量産/金属プレス)
順送型設計(自動車)

対応個数	1個対応可	3000以上可	1万個以上可	試作対応可
対応	特急対応可	24h対応可	土日対応可	海外工場保有
品質・環境資格	AS 9100	AS 9120	ECO 認証	ISO 9001
	ISO/IEC 27001	ISO/TS 16949	JIS 認証	ISO 9002
			KES 認証	ISO 14001
			RoHS	
加工対応	機械加工	大物加工	微細加工	
対応材料	銅	プラスチック	アルミ	ステンレス
	マグネシウム	インコネル	セラミック	チタン
	ニッケル合金	アルミ合金	銅合金	鉄
			鉄鋼物	鉄合金
			チタニウム合金	CFRP

イ、2009年には台湾の桃園に事務所を構え、アジア圏への工場進出を視野に入れた調達・営業・海外ネットワークの構築を進めている。

アジア進出(ベトナム)

2006年のハノイ事務所の設置は、取引先のアジア海外拠点がタイ・中国であることによる。ベトナムはそれらの中間地点であり、今後アジア経済の中心として拡大が見込まれると判断、アジア展開の足掛かりとして進出した。

同時にアジア圏での調達を目指し、グローバル展開の盛んな台湾で業務提携

先を探した。工業用内視鏡の台湾メーカーで、世界50ヵ国以上に年5万台を生産輸出している企業と出会い、2011年7月に日本国内の製造業へ販売を開始した。この工業用内視鏡は、関プレスの目玉商品となった。今までに取引がない分野の大手メーカーからも注文を受けるようになり、製造現場・品質確認用途として高い評価を得ている。最近では自社で治具を提案しこれとセットで納入するなど、本業の受注・販路開拓にも活かしている。

2013年には、ベトナムの事務所を法人化して首都ハノイ近郊に生産拠点を構える予定だ。法人化にあたっては、関プレスと業務提携を実施している日本のプレス

加工会社と、ベトナムの人材派遣会社とともに、3社でベトナムに合弁会社設立を計画している。それに向け、ベトナムのハノイ工業大学から実習生数名を日立市の本社へ受け入れて研修しており、現地工場開業の際のリーダーとして送り込む計画だ。さらにベトナムから技術者を採用し、金型技術の教育も計画している。そこで、台湾工業用内視鏡メーカーからの部品加工の受注も検討中だ。

合弁先企業の香港・中国の拠点も活かし、互いに情報共有を図り、アジア4極(ベトナム・台湾・香港・中国)の事業基盤の構築・事業拡大に向けて連携を強化していく関プレスだ。